

PRIMERGY CX122 S1 未サポート OS 動作検証確認情報

ソフトウェア名称	オンボード SATA コントローラ <RAID 1>	オンボード SAS コントローラ <単体接続>
	動作確認結果	動作確認結果
CentOS 5.5(x86_64)	-	○(注7)
Fedora 14(x86_64)	-	○(注7)
Scientific Linux 5.5(x86_64)	-	○(注7)
Debian GNU/Linux 5.0.8(x86_64)	-	○(注7)
Debian GNU/Linux 5.0.7(x86_64)	-	○(注7)
Ubuntu 10.10 Server(x86_64)	-	○(注7)
FreeBSD 8.1(x86_*64)	-	○(注7)

凡例
○: インストール可 ×: インストール不可 -: 未確認 ※ServerView Agents は対象 OS でインストールのみ確認。
注釈
<ol style="list-style-type: none"> LAN ドライバが必要。 TEXT モードでインストール。 SAS コントローラ対応ドライバ、LAN ドライバが必要。 SAS コントローラ対応ドライバが必要。 SATA コントローラ対応ドライバが必要。 論理的にインストール可。 その他。

PRIMERGY CX122 S1 オンボードSATAコントローラ CentOS 5.5 (x86_64) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における 動作結果であり、お客様の ご利用環境での未サポートOSの動作を保証するものではなく、未サポートOSの利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポートOSの導入・利用を行なったことにより お客様に損害が生じた 場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGYに関連した未サポートOSに関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。 そのため、未サポートOSの導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしているOS環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

ハード環境

PRIMERGY CX122 S1

- ・CPU : インテル Xeon E5506 2.13GHz/4MB/4 コア × 2
- ・メモリ : 24GB
- ・NIC : オンボード 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T × 4
- ・HDD : 160GB × 1
- ・外部記憶 : リモートストレージ

デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・LAN : Intel Corporation 82576NS Gigabit Network Connection (rev 02) 【igb】
- ・VGA : Matrox Graphics, Inc. MGA G200e [Pilot] ServerEngines (SEP1) (rev 02)
- ・HDD : Intel Corporation 82801JI (ICH10 Family) SATA AHCI Controller 【ahci】

ディストリビューション

- ・CentOS 5.5 (x86_64)
2.6.18-194.el5

インストール及び動作確認結果

PRIMERGY CX122 S1 CentOS 5.5 (x86_64) 2.6.18-194.el5

項番	確認項目	結果
1	HDD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK ※1 ※2
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が利用できるか	OK
6	キーボードが利用できるか	OK ※3
7	マウスが利用できるか	OK
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK
9	フロッピードライブが利用できるか	—
10	リモートストレージが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ifconfig コマンド)されるか	OK
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(system-config-network*など)を利用してネットワーク構成が変更できるか	OK
17	web サービス(httpd)が利用できるか	OK
18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送(nfs)	OK

21	ディスクアレイ管理ツール[ServerViewRAID] のインストール	—
22	ディスクアレイ管理ツール[GAM (Global Array Manager)] のインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア[ServerView v. 5.00-09] のインストール	OK
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	—
25	片側の HDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成(rebuild)が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 BIOS セットアップで、「SATA RAID Enable」を Disabled、「SATA AHCI Enable」を Enabled に設定する

※2 ビデオリダイレクションとリモートストレージを利用してインストールを行った

※3 ビデオリダイレクションのキーボード設定を「日本語」に設定する

■インストール手順

1. 「boot:」プロンプトが出たところで、Enter を押します。
2. 以降は通常のインストールを実行します。

PRIMERGY CX122 S1 オンボードSATAコントローラ Fedora 14 (x86_64) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における 動作結果であり、お客様の ご利用環境での未サポートOSの動作を保証するものではなく、未サポートOSの利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポートOSの導入・利用を行なったことにより お客様に損害が生じた 場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGYに関連した未サポートOSに関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。 そのため、未サポートOSの導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしているOS環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

ハード環境

PRIMERGY CX122 S1

- ・CPU : インテル Xeon E5506 2.13GHz/4MB/4 コア × 2
- ・メモリ : 24GB
- ・NIC : オンボード 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T × 4
- ・HDD : 160GB × 1
- ・外部記憶 : リモートストレージ

デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・LAN : Intel Corporation 82576NS Gigabit Network Connection (rev 02) 【igb】
- ・VGA : Matrox Graphics, Inc. MGA G200e [Pilot] ServerEngines (SEP1) (rev 02)
- ・HDD : Intel Corporation 82801JI (ICH10 Family) SATA AHCI Controller 【ahci】

ディストリビューション

- ・Fedora 14 (x86_64)
2.6.35-10-75-fc14.x86_64

インストール及び動作確認結果

PRIMERGY CX122 S1 Fedora 14 (x86_64) 2.6.35-10-75-fc14.x86_64

項番	確認項目	結果
1	HDD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK ※1 ※2
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が使用できるか	OK
6	キーボードが使用できるか	OK ※3
7	マウスが使用できるか	OK
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK
9	フロッピードライブが利用できるか	—
10	リモートストレージが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ifconfig コマンド)されるか	OK
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(system-config-network*など)を利用してネットワーク構成が変更できるか	OK
17	web サービス(httpd)が利用できるか	OK
18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送(nfs)	OK

21	ディスクアレイ管理ツール[ServerViewRAID] のインストール	—
22	ディスクアレイ管理ツール[GAM (Global Array Manager)] のインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア[ServerView v. 5.00-09] のインストール	—
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	—
25	片側の HDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成(rebuild)が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 BIOS セットアップで、「SATA RAID Enable」を Disabled、「SATA AHCI Enable」を Enabled に設定する

※2 ビデオリダイレクションとリモートストレージを利用してインストールを行った

※3 ビデオリダイレクションのキーボード設定を「日本語」に設定する

■インストール手順

1. CD ブート後、「Install a new system or upgrade an existing system」を選択し、Enter を押します。
2. 以降は通常のインストールを実行します。

PRIMERGY CX122 S1 オンボードSATAコントローラ Scientific Linux 5.5 (x86_64) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における 動作結果であり、お客様の ご利用環境での未サポートOSの動作を保証するものではなく、未サポートOSの利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポートOSの導入・利用を行なったことにより お客様に損害が生じた 場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGYに関連した未サポートOSに関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。 そのため、未サポートOSの導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしているOS環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

ハード環境

PRIMERGY CX122 S1

- ・CPU : インテル Xeon E5506 2.13GHz/4MB/4 コア × 2
- ・メモリ : 24GB
- ・NIC : オンボード 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T × 4
- ・HDD : 160GB × 1
- ・外部記憶 : リモートストレージ

デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・LAN : Intel Corporation 82576NS Gigabit Network Connection (rev 02) 【igb】
- ・VGA : Matrox Graphics, Inc. MGA G200e [Pilot] ServerEngines (SEP1) (rev 02)
- ・HDD : Intel Corporation 82801JI (ICH10 Family) SATA AHCI Controller 【ahci】

ディストリビューション

- ・Scientific Linux 5.5 (x86_64)
2.6.18-194.3.1.el5

インストール及び動作確認結果

PRIMERGY CX122 S1 Scientific Linux 5.5 (x86_64) 2.6.18-194.3.1.el5

項番	確認項目	結果
1	HDD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK ※1 ※2
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が使用できるか	OK
6	キーボードが使用できるか	OK ※3
7	マウスが使用できるか	OK
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK
9	フロッピードライブが利用できるか	—
10	リモートストレージが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ifconfig コマンド)されるか	OK
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(system-config-network*など)を利用してネットワーク構成が変更できるか	OK
17	web サービス(httpd)が利用できるか	OK
18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送(nfs)	OK

21	ディスクアレイ管理ツール[ServerViewRAID] のインストール	—
22	ディスクアレイ管理ツール[GAM (Global Array Manager)] のインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア[ServerView v. 5.00-09] のインストール	OK
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	—
25	片側の HDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成(rebuild)が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 BIOS セットアップで、「SATA RAID Enable」を Disabled、「SATA AHCI Enable」を Enabled に設定する

※2 ビデオリダイレクションとリモートストレージを利用してインストールを行った

※3 ビデオリダイレクションのキーボード設定を「日本語」に設定する

■インストール手順

1. 「boot:」プロンプトが出たところで、Enter を押します。
2. 以降は通常のインストールを実行します。

PRIMERGY CX122 S1 オンボードSATAコントローラ Debian GNU/Linux 5.0.8 (x86_64) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における 動作結果であり、お客様の ご利用環境での未サポートOSの動作を保証するものではなく、未サポートOSの利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポートOSの導入・利用を行なったことにより お客様に損害が生じた 場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGYに関連した未サポートOSに関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。 そのため、未サポートOSの導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしているOS環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

ハード環境

PRIMERGY CX122 S1

- ・CPU : インテル Xeon E5506 2.13GHz/4MB/4 コア × 2
- ・メモリ : 24GB
- ・NIC : オンボード 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T × 4
- ・HDD : 160GB × 1
- ・外部記憶 : リモートストレージ

デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・LAN : Intel Corporation 82576NS Gigabit Network Connection (rev 02) 【igb】
- ・VGA : Matrox Graphics, Inc. MGA G200e [Pilot] ServerEngines (SEP1) (rev 02)
- ・HDD : Intel Corporation 82801JI (ICH10 Family) SATA AHCI Controller 【ahci】

ディストリビューション

- ・Debian GNU/Linux 5.0.8 (x86_64)
2.6.26-2-amd64

インストール及び動作確認結果

PRIMERGY CX122 S1 Debian GNU/Linux 5.0.8 (x86_64) 2.6.26-2-amd64

項番	確認項目	結果
1	HDD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK ※1 ※2
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が利用できるか	OK
6	キーボードが利用できるか	OK ※3
7	マウスが利用できるか	OK
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK
9	フロッピードライブが利用できるか	—
10	リモートストレージが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ifconfig コマンド)されるか	OK
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(system-config-network*など)を利用してネットワーク構成が変更できるか	OK
17	web サービス(httpd)が利用できるか	OK
18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送(nfs)	OK

21	ディスクアレイ管理ツール[ServerViewRAID] のインストール	—
22	ディスクアレイ管理ツール[GAM (Global Array Manager)] のインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア[ServerView v. 5.00-09] のインストール	—
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	—
25	片側の HDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成(rebuild)が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 BIOS セットアップで、「SATA RAID Enable」を Disabled、「SATA AHCI Enable」を Enabled に設定する

※2 ビデオリダイレクションとリモートストレージを利用してインストールを行った

※3 ビデオリダイレクションのキーボード設定を「日本語」に設定する

■インストール手順

1. 「Installer boot menu」が表示されたら「Graphical install」を選択して Enter を押します。
2. 以降は通常のインストールを実行します。

PRIMERGY CX122 S1 オンボードSATAコントローラ Debian GNU/Linux 5.0.7 (x86_64) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における 動作結果であり、お客様の ご利用環境での未サポートOSの動作を保証するものではなく、未サポートOSの利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポートOSの導入・利用を行なったことにより お客様に損害が生じた 場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGYに関連した未サポートOSに関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。 そのため、未サポートOSの導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしているOS環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

ハード環境

PRIMERGY CX122 S1

- ・CPU : インテル Xeon E5506 2.13GHz/4MB/4 コア × 2
- ・メモリ : 24GB
- ・NIC : オンボード 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T × 4
- ・HDD : 160GB × 1
- ・外部記憶 : リモートストレージ

デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・LAN : Intel Corporation 82576NS Gigabit Network Connection (rev 02) 【igb】
- ・VGA : Matrox Graphics, Inc. MGA G200e [Pilot] ServerEngines (SEP1) (rev 02)
- ・HDD : Intel Corporation 82801JI (ICH10 Family) SATA AHCI Controller 【ahci】

ディストリビューション

- ・Debian GNU/Linux 5.0.7 (x86_64)
2.6.26-2-amd64

インストール及び動作確認結果

PRIMERGY CX122 S1 Debian GNU/Linux 5.0.7 (x86_64) 2.6.26-2-amd64

項番	確認項目	結果
1	HDD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK ※1 ※2
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が使用できるか	OK
6	キーボードが使用できるか	OK ※3
7	マウスが使用できるか	OK
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK
9	フロッピードライブが利用できるか	—
10	リモートストレージが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ifconfig コマンド)されるか	OK
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(system-config-network*など)を利用してネットワーク構成が変更できるか	OK
17	web サービス(httpd)が利用できるか	OK
18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送(nfs)	OK

21	ディスクアレイ管理ツール[ServerViewRAID] のインストール	—
22	ディスクアレイ管理ツール[GAM (Global Array Manager)] のインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア[ServerView v. 5.00-09] のインストール	—
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	—
25	片側の HDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成(rebuild)が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 BIOS セットアップで、「SATA RAID Enable」を Disabled、「SATA AHCI Enable」を Enabled に設定する

※2 ビデオリダイレクションとリモートストレージを利用してインストールを行った

※3 ビデオリダイレクションのキーボード設定を「日本語」に設定する

■インストール手順

1. 「Installer boot menu」が表示されたら「Graphical install」を選択して Enter を押します。
2. 以降は通常のインストールを実行します。

PRIMERGY CX122 S1 オンボードSATAコントローラ Ubuntu 10.10 Server (x86_64) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における 動作結果であり、お客様の ご利用環境での未サポートOSの動作を保証するものではなく、未サポートOSの利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポートOSの導入・利用を行なったことにより お客様に損害が生じた 場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGYに関連した未サポートOSに関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。 そのため、未サポートOSの導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしているOS環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

ハード環境

PRIMERGY CX122 S1

- ・CPU : インテル Xeon E5506 2.13GHz/4MB/4 コア × 2
- ・メモリ : 24GB
- ・NIC : オンボード 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T × 4
- ・HDD : 160GB × 1
- ・外部記憶 : リモートストレージ

デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・LAN : Intel Corporation 82576NS Gigabit Network Connection (rev 02) 【igb】
- ・VGA : Matrox Graphics, Inc. MGA G200e [Pilot] ServerEngines (SEP1) (rev 02)
- ・HDD : Intel Corporation 82801JI (ICH10 Family) SATA AHCI Controller 【ahci】

ディストリビューション

- ・Ubuntu 10.10 Server (x86_64)
2.6.35-22-server

インストール及び動作確認結果

PRIMERGY CX122 S1 Ubuntu 10.10 Server (x86_64) 2.6.35-22-server

項番	確認項目	結果
1	HDD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK ※1 ※2
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が利用できるか	—
6	キーボードが利用できるか	OK ※3
7	マウスが利用できるか	—
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK
9	フロッピードライブが利用できるか	—
10	リモートストレージが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ifconfig コマンド)されるか	OK
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(system-config-network*など)を利用してネットワーク構成が変更できるか	OK
17	web サービス(httpd)が利用できるか	OK
18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK
20	ネットワークのデータ転送(nfs)	OK

21	ディスクアレイ管理ツール[ServerViewRAID] のインストール	—
22	ディスクアレイ管理ツール[GAM (Global Array Manager)] のインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア[ServerView v. 5.00-09] のインストール	—
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	—
25	片側の HDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成(rebuild)が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 BIOS セットアップで、「SATA RAID Enable」を Disabled、「SATA AHCI Enable」を Enabled に設定する

※2 ビデオリダイレクションとリモートストレージを利用してインストールを行った

※3 ビデオリダイレクションのキーボード設定を「日本語」に設定する

■インストール手順

1. CD ブート後、Language から「日本語」を選択し、Enter を押します。
2. 「Install Ubuntu Server」を選択し、Enter を押します。
3. 以降は通常のインストールを実行します。

PRIMERGY CX122 S1 オンボードSATAコントローラ FreeBSD 8.1 (x86_64) 動作確認

- 本資料で公開する動作確認情報については、あくまでも弊社で用意したテスト環境における 動作結果であり、お客様の ご利用環境での未サポートOSの動作を保証するものではなく、未サポートOSの利用を推奨するものでもありません。
- 本資料で公開している動作確認情報にもとづき、未サポートOSの導入・利用を行なったことにより お客様に損害が生じた 場合には、弊社はその損害につき責任を負いかねます。
- 弊社の窓口では、PRIMERGYに関連した未サポートOSに関する問合せ、その他のサポートはお受けできません。 そのため、未サポートOSの導入・利用にあたっては、お客様の責任で、ご利用いただきますようお願いいたします。
- ハードウェアの修理・保守に関しては、当該機種が正式にサポートしているOS環境での動作の範囲に限られます。
- 本資料記載の内容は、予告なしに変更される場合があります。

ハード環境

PRIMERGY CX122 S1

- ・CPU : インテル Xeon E5506 2.13GHz/4MB/4 コア × 2
- ・メモリ : 24GB
- ・NIC : オンボード 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T × 4
- ・HDD : 160GB × 1
- ・外部記憶 : リモートストレージ

デバイスドライバ【ドライバ名】

- ・LAN : Intel Corporation 82576NS Gigabit Network Connection (rev 02) 【igb】
- ・VGA : Matrox Graphics, Inc. MGA G200e [Pilot] ServerEngines (SEP1) (rev 02)
- ・HDD : Intel Corporation 82801JI (ICH10 Family) SATA AHCI Controller 【ahci】

ディストリビューション

- ・FreeBSD 8.1 (x86_64)
8.1-RELEASE

インストール及び動作確認結果

PRIMERGY CX122 S1 FreeBSD 8.1 (x86_64) 8.1-RELEASE

項番	確認項目	結果
1	HDD/RAID ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
2	LAN ドライバ対応(OS 標準/別途必要)	OS 標準
3	検証機に対して、インストールが行えるか	OK ※1 ※2 ※3
4	インストール後再起動を行い、OS が正常起動できるか	OK
5	GUI が使用できるか	OK
6	キーボードが使用できるか	OK ※4
7	マウスが使用できるか	—
8	OS 起動後、root ユーザにてログインできるか	OK
9	フロッピードライブが利用できるか	—
10	リモートストレージが利用できるか	OK
11	root ユーザでログインした状態で、” shutdown -h now” コマンドを投下しシャットダウンが行われるか	OK
12	ローカルディスクへの書き込み確認(書き込み・削除等)	OK
13	インストール時に設定した値が正しく表示(ifconfig コマンド)されるか	OK
14	検証機から他の PC に対して ping を送ることができるか	OK
15	他の PC から検証機に対して ping を送ることができるか	OK
16	ネットワークユーティリティ(system-config-network*など)を利用してネットワーク構成が変更できるか	OK
17	web サービス(httpd)が利用できるか	OK
18	ftp サービスが利用できるか	OK
19	nfs サービスが利用できるか	OK

20	ネットワークのデータ転送(nfs)	OK
21	ディスクアレイ管理ツール[ServerViewRAID] のインストール	—
22	ディスクアレイ管理ツール[GAM (Global Array Manager)] のインストール	—
23	サーバ管理ソフトウェア[ServerView v. 5.00-09] のインストール	—
24	片側の HDD を抜いても OS が動作しているか ※停止状態で HDD を抜き、起動する	—
25	片側の HDD が抜けている状態で、root ユーザにてログインできるか	—
26	片側の HDD が抜けている状態で、touch コマンドを利用して書込めるか	—
27	片側の HDD が抜けている状態で、再起動を行い OS が起動するか	—
28	片側の HDD を戻し、RAID の再構成(rebuild)が行われるか	—
29	RAID の再構築終了後、再起動を行い OS が正常起動するか	—
30	RAID の再構築終了後、root ユーザにてログインできるか	—

※1 BIOS セットアップで、「SATA RAID Enable」を Disabled、「SATA AHCI Enable」を Enabled に設定する

※2 ビデオリダイレクションとリモートストレージを利用してインストールを行った

※3 boot オプションに以下オプションを入力する。

```
set hint.atkbd.0.disabled=1
```

```
set hint.psm.0.disabled=1
```

※4 ビデオリダイレクションのキーボード設定を「日本語」に設定する

■インストール手順

1. CD ブート後「Welcome to FreeBSD!」画面が表示されたら、「6」を入力し Enter を押します。
2. boot オプションの入力を行います。以下オプションを入力しブートします。
 1. OK set hint.atkbd.0.disabled=1
 2. OK set hint.psm.0.disabled=1
 3. OK boot
3. 以降通常のインストールを行います。

■インストール後の設定

インストール後の起動に関しては、起動ごとに「インストール手順 2」が必要となるため以下手順を行います。

- /boot/loader.conf の編集

[追記内容]

```
hint.atkbd.0.disabled=1
```

```
hint.psm.0.disabled=1
```